

(2) 美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち

環境分野では、郡上の豊富な水資源を活用する再生可能エネルギー事業として各種小水力発電の施設整備への支援を行います。奥地にある水源地域の森林保全を効率的に行うため、水源林保全ネットワーク化事業を行います。歴史的風致維持向上計画や八幡市街地の都市計画マスタープランなどの都市計画事業に取り組んでいます。さらに市民の生活環境と、自然環境を守る廃棄物対策も大事な施策です。ごみ処理施設などが長期間の使用で劣化しており、郡上クリーンセンター等の大規模修繕工事に多額の予算が計上されています。

防災分野では、東海地震や東南海大地震の発生が予測されており、郡上でもその備えは十分に行う必要があります。また、通常の火災、水害などにも備えなければなりません。消防団などの活動にも多くの予算を必要とします。地震の備えは各種耐震補強工事補助事業などが組まれています。暮らしの中の安全・安心を守る事業では生活安全対策事業、消防団活動費、消防施設整備事業などが組まれています。

社会基盤分野では、利便性と安全・安心を考え、沿道林修景整備や道路整備事業、さらには社会資本を維持するための社会資本整備総合交付金事業や、道路、橋などの老朽化について調査を行います。また、急傾斜地崩壊対策事業や河川自然災害防止事業にも取り組んでいます。公共交通網においても、大手路線バス会社の撤退後も、地元バス会社が市民の足を可能な限り確保するよう支援しています。行政の情報システムも更新され新時代に即したシステムにかわります。

自然環境を守り、快適な住環境の実現を目指します

水源林保全のための道路ネットワーク化事業

予算額 5,000 千円

水資源を守るため、手入れの行き届かない奥地の水源林など山間地域の道路ネットワーク化を進めるため、モデル地区の道路網整備のためのマスタープラン案を作成します。

建築物耐震化事業

予算額 9,396 千円



予測される大地震に備え、市営住宅の耐震診断の実施、及び民間大規模建築物の耐震診断費用の一部を助成します。

都市計画事業

予算額 16,847 千円



歴史的風致維持向上計画、八幡市街地の都市計画マスタープラン、都市再生整備計画、及び市街地防災対策基本計画を策定します。

木造住宅耐震補強工事補助事業

予算額 3,140 千円

地震発生時の市民の安全を図るため、耐震診断結果による住宅・建築物の耐震補強工事費用の一部を助成します。

廃棄物対策を推進し、循環型社会を実現します

郡上クリーンセンター大規模修繕事業

予算額 126,800 千円

市民の生活環境を守り維持していくために、ごみ処理施設及びリサイクルプラザの機械設備の腐食、磨耗、損傷の著しい箇所の修繕工事を行います。

小水力発電活用支援事業

予算額 63,750 千円

売電益を活用した農業振興と地域活性化を図るため、白鳥町石徹白地区における小水力発電施設の整備費用の一部を地元民間組織へ助成します。

県営地域用水環境整備事業

予算額 27,750 千円

安全・安心な環境を引き継ぐための持続可能な循環型社会を実現するため、白鳥町石徹白地区、阿多岐地区で県が行う小水力発電施設の設置に係る負担金です。

小水力発電研究事業

予算額 5,492 千円

自然エネルギーの活用が求められています。地域特性を活かした小水力発電施設事業化の可能性調査、小水力発電の詳細モデルプランの作成及び自然エネルギー学校を開校します。

暮らしの中の安全・安心を守ります

消防施設整備事業

予算額 95,563 千円

市民の生命と、身体及び財産を災害から守るため、更新計画に基づき水槽付消防ポンプ自動車等の消防車両及び消防用小型動力ポンプ、耐震性貯水槽及び消火栓等の整備を行います。

災害対策事業費

予算額 15,520 千円

被災地への災害派遣旅費や備蓄用非常食の購入、土砂災害ハザードマップ作成、防災をはじめとした市の総合情報をメールで配信するサービスや防災士資格取得に対する自主防災組織活動費助成を行います。

利便性と安全・安心の基盤整備を進めます

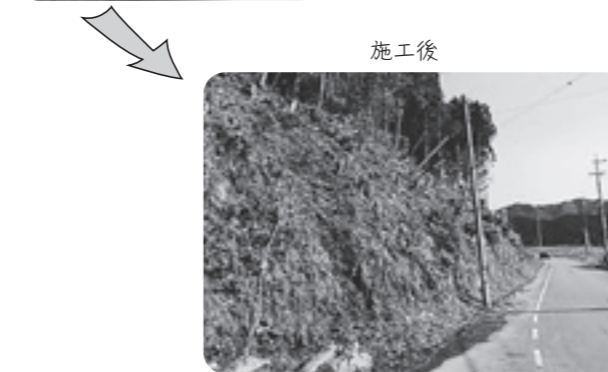
沿道林修景整備事業

予算額 10,000 千円



施工前

ライフラインの確保と道路環境整備のため、市が行う修景事業及び、自治会が事業主体となる「自治会提案型」による沿道林の修景整備を行います。

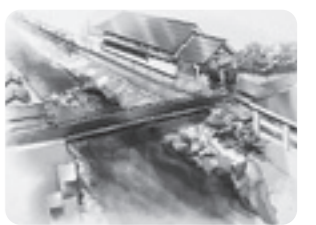


施工後

社会資本整備総合交付金事業

予算額 607,500 千円

市道の安全で円滑な通行を図るため、市内全地域において道路や橋梁の修繕・整備、及びトンネルの修繕調査を行います。



道路ストック総点検事業

予算額 46,044 千円

道路法の改正に伴い「道路の維持修繕についての道路管理者の努力義務」が規定され、管理道路を総点検要領により調査することが必要となりました。このため市道重要路線について、舗装、道路構造物・法面、道路照明・標識、橋梁の調査点検を実施します。

公共交通網を整えます

バス運行経費（地域公共交通確保維持改善事業含む）

予算額 68,619 千円



八幡市街地を走るまめバスや地域巡回バスなど市所有のバス11台により20路線を運行。小中学生の通学や高齢者の通院・買い物など生活の移動手段を確保し、地域事情や利用状況に応じて曜日指定やフリー乗降など効率的な運行に取り組んでいます。

地方交通対策経費

予算額 75,453 千円

路線バス会社が撤退した路線を地元のバス会社が運行を引き継ぎ、地域間を結ぶバス路線等を維持しています。高校生の通学や病院への通院には欠かせない公共交通機関であり、引き続き運行に対して支援を行います。



情報基盤を整備・活用し、暮らしの可能性を広げます

総合行政情報システム導入事業

予算額 42,790 千円

現行使用している住民情報、財務会計、人事給与システムの保守終了と、社会保障・税番号制度に対応するため、クラウド型総合行政情報システムへの更新を図ります。

